

横浜市青少年育成センター
第4期 指定管理者選定結果報告書

平成27年9月
横浜市青少年施設
指定管理者選定評価委員会

横浜市青少年育成センターの第4期指定管理者の選定にあたり、横浜市青少年施設指定管理者選定評価委員会（以下、「選定委員会」という。）は、応募者から提出された応募書類の内容審査や公開プレゼンテーション及びヒアリング審査を行い、応募者の評価を行いました。

このたび、審査が終了し、指定候補者を選定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

1 選定にあたっての評価の考え方

（1）選定方法

- ① 応募書類の内容審査
- ② 提案内容に基づくプレゼンテーション
- ③ ヒアリング
- ④ 応募団体の財務状況診断

（2）応募者の資格の確認

公募要項に定める「応募者の資格」「欠格事項」について、該当のないことを確認しました。

（3）評価の方法

選定委員会では、公募要項において、あらかじめ定めた「指定管理者評価基準」（別紙）に従って、総合的に審査を行いました。

なお、評価は、各委員100点満点の計500点満点とし、最低基準を300点としました。

2 選定結果

（1）応募団体

1団体から応募がありました。

（2）選定結果

選定委員会において、厳正な審査を行った結果、次の団体を指定候補者と決定しました。

順位	団体名
指定候補者	公益財団法人 よこはまユース

3 得点

	選定の評価基準	配点	採点
基本方針	(1) 施設管理運営の基本的な考え方	50	42
	(2) 施設管理運営の5年間の目標と計画方針	50	37
事業計画	(1) 事業実施に関する基本的な考え方	25	18
	(2) 計画的な事業展開について	75	58
	(3) 利用者サービス向上について	50	36
	(4) 地域や他機関等との連携・協働について	50	35
管理運営	(1) 運営体制に関する基本的な考え方について	100	76
	(2) 収支計画について	50	32
	(3) 施設の維持管理について	25	20
	(4) モニタリングの実施について	25	17

合計点数	500	371
------	-----	-----

※採点欄は、委員 5 人全員の合算点です。

3 審査講評

指定候補者については、当該施設の指定管理業務を現在も受託しており、施設の設置目的や役割を十分に理解しています。青少年に関わる人材の育成等について、現状の課題分析を踏まえて、これまで蓄積した経験やノウハウを活かした取り組みに期待します。

なお、目標に掲げるユースコーディネーターの認定制度については、役割、求められる資質能力、研修内容、認定後の活動等、認定制度の意義や機能などを検証し、専門家の意見も取り入れながら、しっかりとした制度設計を行い実施してもらいたいと思います。

今後は、第三者評価の実施や外部の専門家を含めた委員会を設置するなど、外部の意見を取り入れ、時代のニーズに合致した弾力的で効果的な管理運営に取り組むとともに、安定的継続のための、より一層盤石な組織体制作りにも取り組んでいただきたいと思います。

4 指定候補者 選定の経過

経過項目	日程
◆第1回選定委員会（傍聴者3名） 1 選定スケジュールについて 2 公募要項・業務の基準・審査の基準について	平成27年6月2日（火）
公募書類の配布（ホームページにて公表）	平成27年6月19日（金）～ 8月14日（金）
現地見学会兼公募説明会 ※申込みは、平成27年6月19日（金）から7月 10日（金）17時まで	平成27年7月21日（火） （申込団体2団体）
公募に関する質問受付（1団体、5問）	平成27年6月19日（金）～ 8月7日（金）
応募書類の提出（1団体）	平成27年8月10日（月）～ 8月14日（金）
◆第2回選定委員会（傍聴者3名） 1 公開プレゼンテーション 2 ヒアリング	平成27年9月25日（金）

5 選定委員会 委員（50音順）

委員長 福田 幸男 横浜薬科大学 教授
 委員 内海 宏 特定非営利活動法人 アクションポート横浜 理事
 竹原 和泉 横浜市立東山田中学校コミュニティハウス 館長
 為崎 緑 中小企業診断士
 辻 弘枝 特定非営利活動法人 CAPかながわ

(別紙)

横浜市青少年育成センター指定管理者評価基準

評価項目	内容	配点
1. 基本方針		20
(1) 施設管理運営の基本的な考え方		
ア 役割、課題に対する考え方	横浜市の青少年育成施策を踏まえ、青少年を取り巻く現状と課題、当該施設の役割を示してください。	5
イ 管理運営に関する考え方	「横浜市子ども・子育て支援事業計画」における子ども・青少年の育成施策の推進を踏まえ、当該施設管理運営の基本方針を示してください。	5
(2) 施設管理運営の5年間の目標と計画方針		
ア 目標について	指定期間の達成目標と中期的目標を示してください。	5
イ 計画方針について	目標を実現していくための計画方針を示してください。	5
2. 事業計画		40
(1) 事業実施に関する基本的な考え方		
青少年育成及び青少年に関わる人材の育成のための考え方や方針について	青少年育成及び青少年に関わる人材の育成の考え方や方針を示してください。	5
(2) 計画的な事業展開について		
ア 指定事業の実施計画について	利用者ニーズ、地域や施設の特徴を踏まえ、指定事業の実施計画と効果を具体的に示してください。	10
イ 自主事業の実施計画について	青少年を取り巻く今日的な課題や地域の特色、利用者ニーズなどを踏まえ、自主事業実施の目的、実施計画、効果を示してください。	5
(3) 利用者サービスの向上について		
ア 利用者サービス向上のための取組について	具体的な実施策を示してください。	5
イ 広報活動・利用促進について	具体的な実施策を示してください。	5
(4) 地域や他機関等との連携・協働について		
市域の学校、青少年関係団体や企業等との連携・協働について	具体的な実施策を示してください。	10
3. 管理運営		40
(1) 運営体制に関する基本的な考え方について		
ア 効率的かつ安定的な運営体制の確立	効率的かつ安定的な運営を図るための体制を示してください。	5
イ 人材育成について	職員の育成、資質向上のための取組を示してください。	5
ウ 危機管理への対応について	安全管理、危機管理への具体的な提案と、事故防止に向けた対策を示してください。	5
エ 個人情報保護に対する取組について	具体的な取組を示してください。	5
(2) 収支計画について		
ア 収支計画と無駄な支出の抑制策について	指定期間の収支計画について具体的に示して下さい。	5
イ 財務経営状況について	施設を継続的、安定的に運営するための財政的基盤を示してください。	5
(3) 施設の維持管理について		
	施設の保守管理、維持管理を図るために重要と考えていることを示してください。	5
(4) モニタリングの実施について		
	事業評価およびPDCAマネジメント等の事業改善計画を示してください。	5
		100